

進化する 生活空間コミュニケーター

気になるGoods NOW

壁やテーブルに映った画面をタッチして操作する!
新感覚の家庭用プロジェクター

「Xperia™ Touch」



周囲の音を聞きながら、音楽やコミュニケーションを楽しむ超小型イヤホン。プロジェクターと連動している。Xperia™ Ear Open-style

インテリアなじむデザインで持ち運びもできるポータブルサイズのプロジェクター
Xperia™ Touch G1109
69×134×143mm(932g)



〈ソニーモバイルコミュニケーションズ株〉



「Xperia™ Touch G1109」は、ハイレベルな技術を備えたソニーの自信作。スペインのバルセロナで行われた「モバイル・ワールド・ कांग्रेस 2017」でも大きな話題を呼んだ。壁やテーブルに投写されたスクリーンに手で触れただけで操作できたり、音声での情報検索やアプリの起動などもできる。

例えば、スマホで検索したレシピ。それをキッチンテーブルに映し出し、その画面を操作しながら、クッキングができたりする。家族や友人と一緒にゲームや動画、ビデオ通話など、さまざまなコンテンツを直感的に楽しめる新感覚のプロジェクターだ。

ニュージーランド発

近未来的電動自転車

「Yike Bike」(ヤイクバイク)

深刻化する二輪車の放置や盗難などの問題解決を目指して、世界最小・最軽量の電動フォールディングバイク「YikeBike」をニュージーランドのベンチャー企業が製造した。洗練された美しいデザインが目をひく。折り畳んだ時の「YikeBike」は、驚くほどコンパクト(3輪キット装着時を除く)になり、自家用車のトランクや公共交通機関で持ち運びでき、小さく軽い。ギネスブックにも載るほどだ。まだ日本で販売が決まったばかりだが、近未来、この新しい電動自転車が、町を行き来する姿を思い浮かべるとワクワクする。

日本ではまだ自転車として認められておらず、公道で走れないのが残念だ。



折り畳むとこんなにコンパクト。重さも13.5kgと軽量だ



日本での販売元は株LIRICA

AI搭載セキュリティカメラ

「Welcome」

「Welcome」は最先端のAI機能を使用し、とらえた顔を最高精度で認識する。さらにその人物の顔をユーザーのスマートフォンに送信するため、家にいるのが家族なのか不審者なのか遠距離からでもすぐわかる。その上、「Welcome」で撮影したファイルを自動的にDropboxへ保存することができるのだ。ますます進化するスマートホームシステムから目が離せない。



ヨドバシカメラマルチメディア博多で販売中

〈スマートホームカンパニー Netatmo〉

黒が際立ち奥行きのある映像を実現

4K有機ELテレビ「ブラビア A1シリーズ」

有機ELとは、「有機エレクトロ・ルミネッセンス(Organic Electro-Luminescence)」の略で、特定の有機化合物に電圧をかけると発光する“現象”のことを指す。ソニーが培ってきたさまざまな高画質技術を惜しみなく活用したこのテレビは、映画の暗闇のシーンなどでも、黒を際立たせながら奥行きのある表現を可能にしている。テレビの画面そのものを振動させることで音を出すという、ソニー独自の音響システム「アコースティック サーフェス」を搭載したことで、正面からスピーカーやスタンドが見えないシンプルなスクリーンのようなデザインになった。ホームシアターにはもってこいの臨場感をももたしている。

「ブラビア A1シリーズ」はソニースタ福岡天神でいつでも体験できる

